

## 七飯養護学校ことしも地域清掃」



今年も、七飯養護学校中学部 3 年生が、鳴川中央町内会館に、「総合的な学習の時間」の中で地域清掃に来てくれました。今回は昨年 1 回のところなんと 2 回(① 10 月 15 日(火) ② 10 月 21 日(月))の実施となりました。中学部 3 年生 20 名と引率の先生 7 名は徒歩で学校から 20 分程かけて会館に到着しました。挨拶の後、班ごとに分かれて清掃開始しました。

窓のグループは今回、外の窓は窓拭きモップとガラスクリーナーで、ピッカピッカの窓に。机のグループは、一台一台を丁寧にゆっくり引き出しながら、隅々までしっかり拭

いてくれました。下足置きのスリッパも一足一足をまんべんなく、きれいにしてくれました。みんなで一緒にやるからこそ、正味一時間弱の時間はあっという間に過ぎていきました。子どもたちは、この活動を通して、協力しながら課題を達成する力を養うことができ、さらに、学校でやっている日常の清掃活動の技能を校外の場所で生かすことができたのではないのでしょうか。地域(町内会館)をきれいにする活動を通して、社会の役に立とうとする気持ちを持つことができるようになることを願うばかりです。七飯養護学校中学部 3 年生、職員の方々、本当に有り難うございました。

## 皆様の善意をお届けします。赤い羽根共同募金!



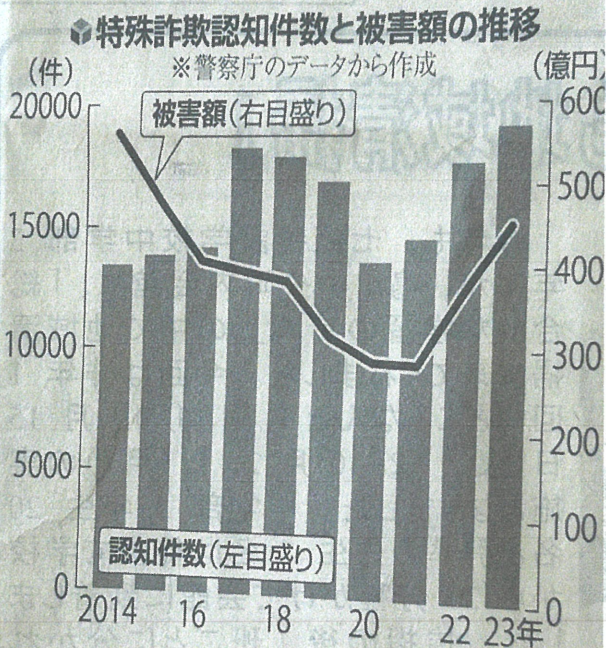
今年も赤い羽根共同募金は支援を求める人たちの元へ、寄付といっしょに募金してくれた人の願いを届けています。障害のある人も暮らしやすいまちであるように。お年寄りも子どもも安心して暮らせるように。困った人がいればいつだって助け助け合う社会であるように。募金は簡単にできる社会参加です。皆様の願い、叶うといいと思っています。本当にありがとうございました。

今年度の寄付金は、108,257 円でした。(194 件)



# 「闇バイト強盗」「特殊詐欺」に気をつけよう!!

恐ろしい時代になりました。新聞の記事でも、ニュースでも相次いで取り上げられています。首都圏で「闇バイト」による強盗事件が起きています。郊外の住宅などに男たちが押し入り、住人の高齢者らに暴力を振るって現金を奪う強盗事件が続発しています。8月以降、東京、埼玉、千葉、神奈川を中心として約20件に上っています。10月に入り、北海道でも類似の強盗事件が発生しています。事件がさらに広域化する恐れがあり、鳴川中央町内会でも厳重な警戒をしていかなければと感じています。



一連の事件では、住宅の窓ガラスを割って室内に押し入るといふ乱暴な手口が共通しています。

そこで、それぞれの家で防犯対策の強化にも努めたいと思います。具体的には、窓ガラスに防犯フィルムを貼って割られにくくしたり、玄関や窓の鍵を複数にしたりする対応が考えられることかと思ひます。セキュリティ・コンサルタントの松丸俊彦さんが、「近所に高齢者の一人暮らしと知られていても、毎日誰かと顔を合わせ、挨拶するような関係性が築けていれば、安心感が増す。この家がいつもと違う状況になったり、異様な物音がすれば、周囲の家が気づいてくれる可能性が高くなるからだ。問題なのは、近所付き合いがまったくない状態で、(どうやらあそこは一人暮らしの高齢者がいるらしい)となんとなく知られているような状況だ、その噂を聞きつけた強盗に目をつけられるリスクは高まる。」と、話してい

ます。次に増えています「特殊詐欺」です。読売新聞(10月27日付け)に※特殊詐欺認知件数と被害額の推移が載っていました。自分は大丈夫と思つても、かかるのが特殊詐欺です。できることは、怪しい人物の訪問や電話には対応しないことです。また、不審な出来事があつたら、迷わず警察に通報して下さい。

## お知らせ

※あおば子供会「ハロウィン☆ナイト」が11月2日(土)15:00～19:00鳴川振興会館で仮装大会・カボチャ探しなど開催されました。

※「戸別受信機設置希望者一覧表」を11月11日(月)に七飯町情報防災課・防災車両係に提出いたしました。

※ゴミステーションの新規設置は、次回の事務局会議で話し合いを持ちます。

七飯町町内会連合会主催  
令和6年度まちづくり研修大会に  
参加しませんか  
\*直接おいで下さい

日時：令和6年11月27日(水)午後13:30～

場所：大中山コモン農事大会議室

講演：・国際交流員 ジャックマッカーシー 氏

「時代別にみるマサチューセッツ州」

・保健予防係長 佐々木 香織 氏

「あなたの周りの感染症とその対策」

～自分と大切な人を守るために～

## 編集後記



○入院していました。この間皆様に大変ご迷惑をおかけしました。事務局員の方々に感謝です。  
○社会福祉協議会の会費の4割補助金が決定しました。26,800円は町内会で実施する福祉活動の財源の一部として活用させていただきます。  
○町内会の交流は、様々な年齢や多様な人との関わりは大切にしたいことの一つです。